

② 設計演習					
科目名	設計演習				
担当教員	三留 正			実務授業の有無	○
対象学科	建築士学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	木造住宅を題材とし、設計の手法を学びます。建築空間の表現・伝達に必須である設計の知識・技術を、学び、2級建築士に必要な、エスキスと製図などを作成するグループ実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. エスキスや製図の基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。 3. 条件に則した設備設計の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、グループ課題として木造住宅の製図課題を作成し、評価、解説行う				
学習目標 (到達目標)	2級建築士製図試験の木造についての、エスキスから作図までを習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	設計製図テキスト(総合資格学院)/プリント配布				
NO.	授業項目・内容	学習方法・準備学習・備考			
1	木造専用住宅-1 ①例題課題の図面トレース ②平面図、立面図、伏図、矩計図 ③製図 完成提出(A2 ケント紙)	方法:教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック 平面図、立面図、伏図、矩計図の描き方を確認しながら進めます エスキスの方法を(ケーススタディを利用)理解する ①～③の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習:教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
2	木造専用住宅-2 ①課題実習 ・エスキス提出(エスキスグリッド用紙) ・製図 完成提出(A2 ケント紙)	方法:教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック エスキス、製図の出来栄を確認しながら進めます ①の課題ルールを理解し適正に作成、作図できる。 準備学習:教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習 ※前期は教科書等資料を見ながら作業可 後期は見ないでできるようにする			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
必須提出課題の点数に加え、通常の授業態度などを加味して総合的に判断します。 課題80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての建築物を設計する上で基本となる設計手法を学ぶ授業です。設計条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むことがポイントとなる。建築士試験に対応できる知識と技術を身につけるため。基本を固め、演習を繰り返すことでつけてスキルを上げていく。グループ作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個別指導も行う。			
実務経験教員の経歴 設計業務・施工管理業務に21年携わる					

② 設計演習					
科目名	設計演習				
担当教員	三留 正			実務授業の有無	○
対象学科	建築士学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築空間の表現・伝達に必須である設計の知識・技術を、学び、2級建築士に必要な、エスキスと製図などを作成する実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. エスキスや製図の基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。 3. 条件に則した図面設計の進め方の基本を理解する。				
学習目標 (到達目標)	2級建築士製図試験の木造についての、エスキスから作図までを習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①設計製図テキスト(総合資格学院)				
NO.	授業項目・内容	学習方法・準備学習・備考			
1	専用住宅(木造) - 1 ①前期行ったエスキス方法を参考に2級建築士レベルの問題に取り組む ・設計課題を各自に進める ・平面図、立面図、矩計図の描き方の確認 *製図 完成提出(A2 ケント紙)	方法:エスキスの方法を教科書に沿って説明後、課題の作成 方法:教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習:教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
2	併用住宅(木造) - 2 ①各自 エスキス完成提出(エスキスグリッド用紙) ②製図 完成提出(A2 ケント紙)	方法:エスキスの方法を教科書に沿って説明後、課題の作成 方法:教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習:教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題の完成度・提出状況を重視して評価する。 課題80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての建築物を設計する上でイメージの表現の基本となるエスキスの方法を学ぶ授業。設計条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むことがポイントとなる。建築士試験に対応できる知識と技術を身につけるため。基本を固め、演習を繰り返すことでつけてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個別指導も行う。			
実務経験教員の経歴 設計業務・施工管理業務に21年携わる					